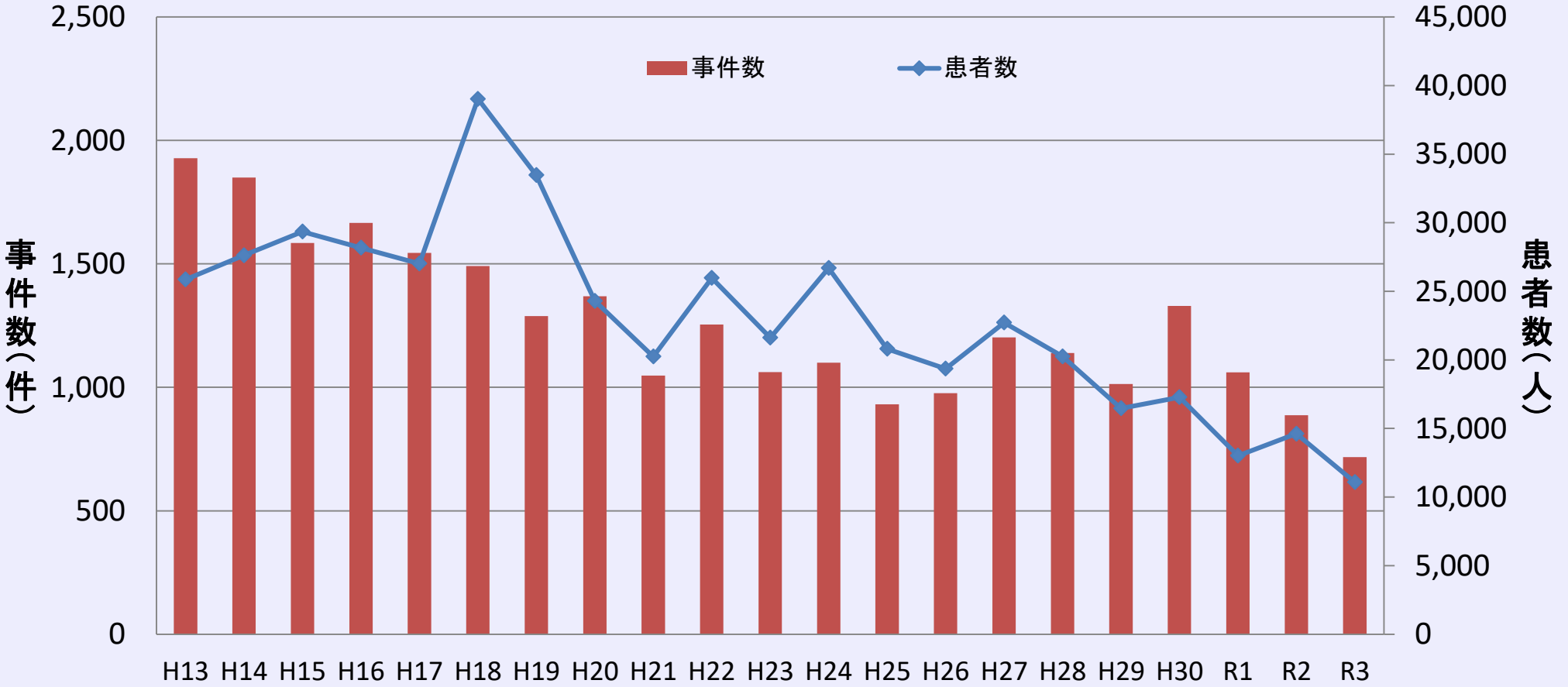
参考資料1-1

厚生労働省公表資料
薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
食中毒部会資料（令和4年3月17日）

令和3年食中毒発生状況（概要版）

食中毒事件数・患者数の推移（全体）

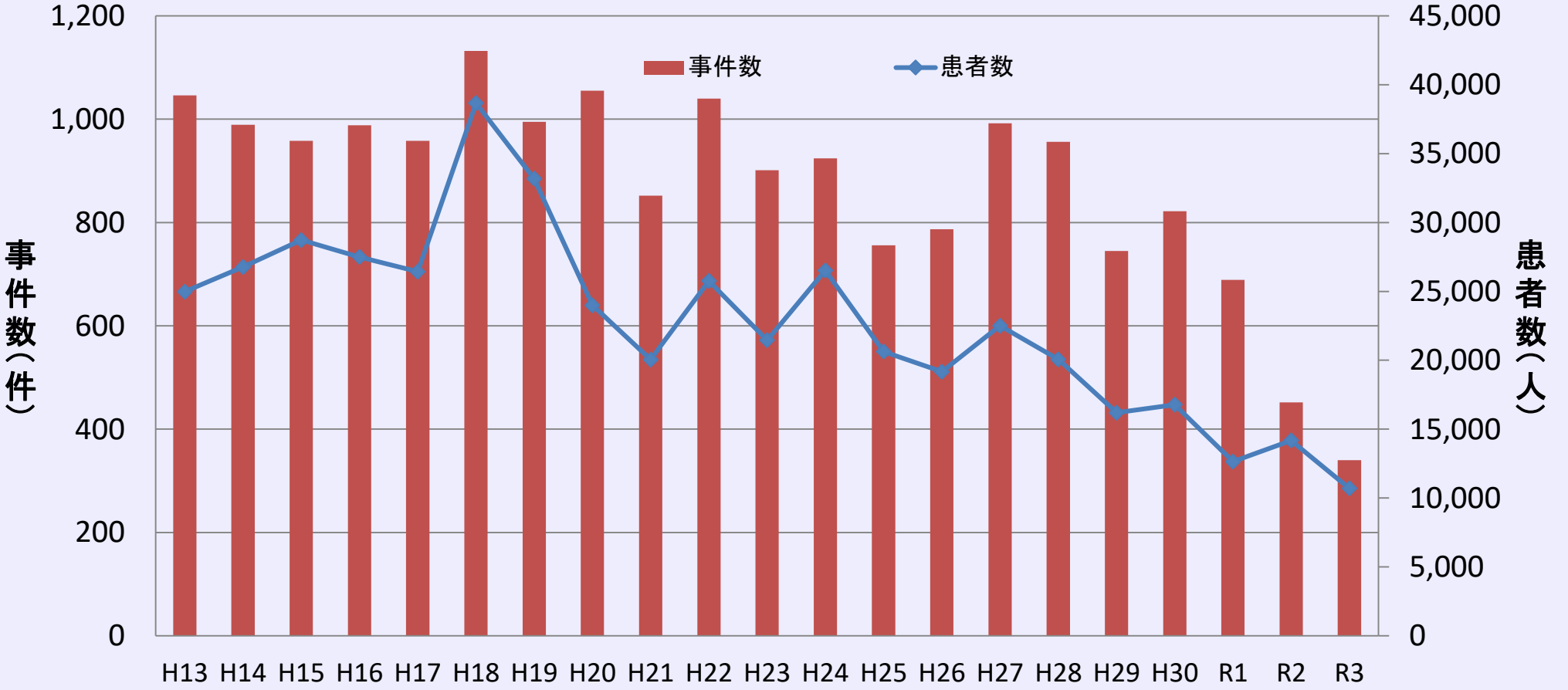
	事件数	患者数	死亡者数
R1年	1,061	13,018	4
R2年	887	14,613	3
R3年	717	11,080	2



（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

食中毒事件数・患者数の推移（患者数2人以上の事例）

	事件数	患者数	死亡者数
R1年	689	12,646	2
R2年	452	14,178	2
R3年	340	10,703	1



（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

患者数500人以上の食中毒事例（令和3年）

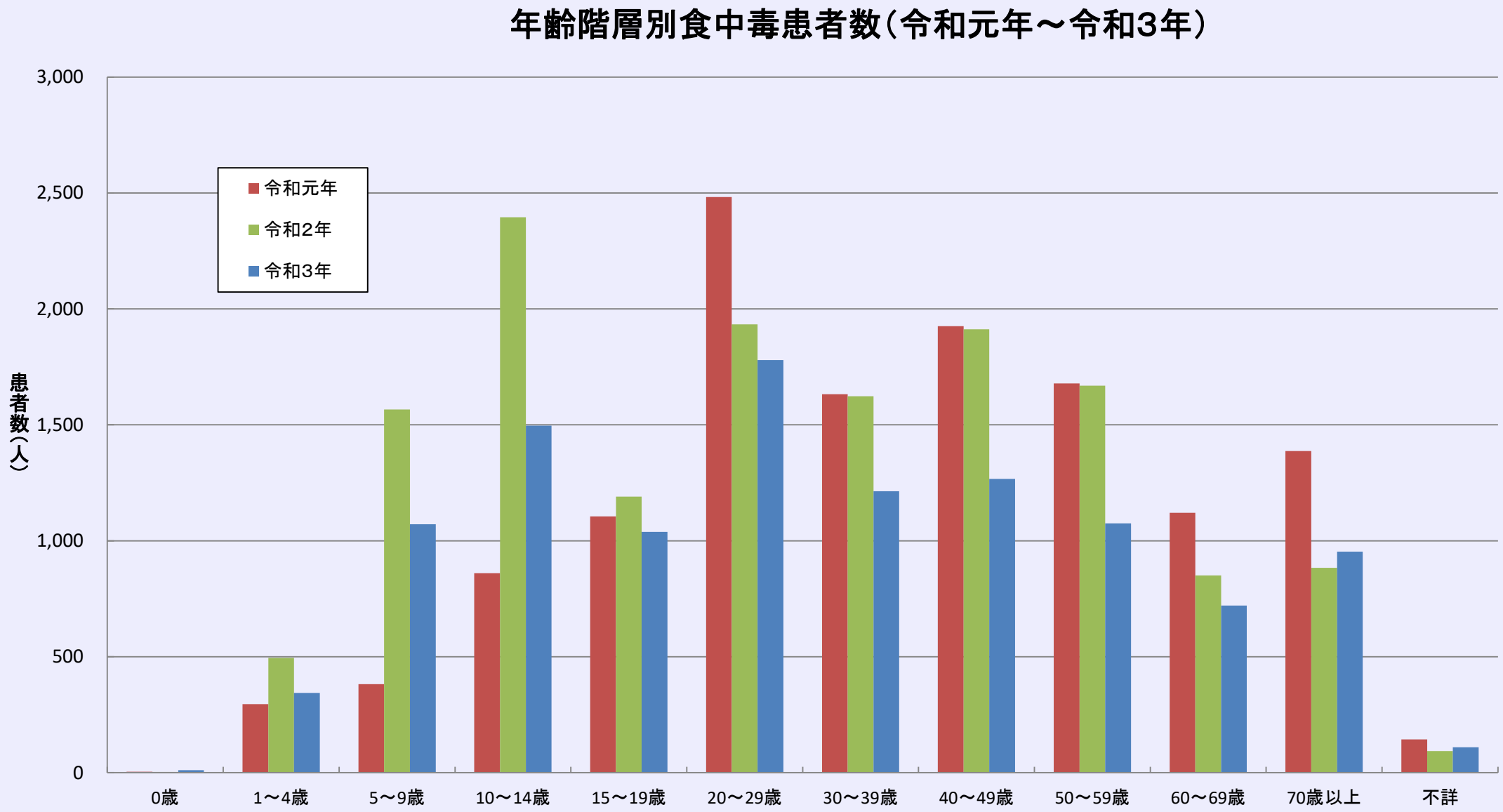
	原因施設 都道府県	発病年月日	原因施設 種別	原因食品	病因物質名	患者 数	死者 数	摂食者 数
1	富山市	2021/6/16	製造所	牛乳	病原大腸菌OUT: H18(疑い)	1,896	0	6,243
2	倉敷市	2021/4/30	仕出屋	不明（4月26日～29日に提供された給食弁当）	ノロウイルスGⅡ	2,545	0	6,453

死者が発生した食中毒事例（令和3年）

	都道府県	発病年月日	原因施設 種別	原因食品名	病因物質種別	患者数	死者数	摂食者 数	死者年齢
1	小樽市	2021/5/26	家庭	イヌサフラン	自然毒 植物性自然毒	1	1	1	男:70歳～
2	沖縄県	2021/4/14	事業場 給食施設 老人ホーム	4月13日に調理された春雨の和え物	細菌 サルモネラ属菌	11	1	179	男:70歳～

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

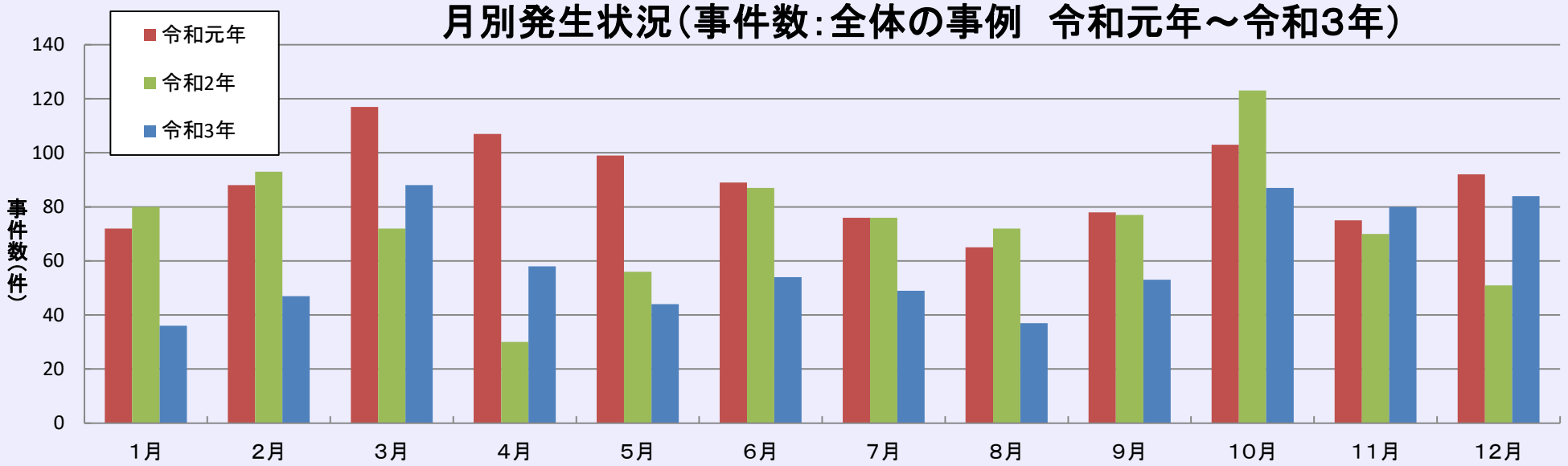
年齢階級別食中毒患者数（令和元年～令和3年）

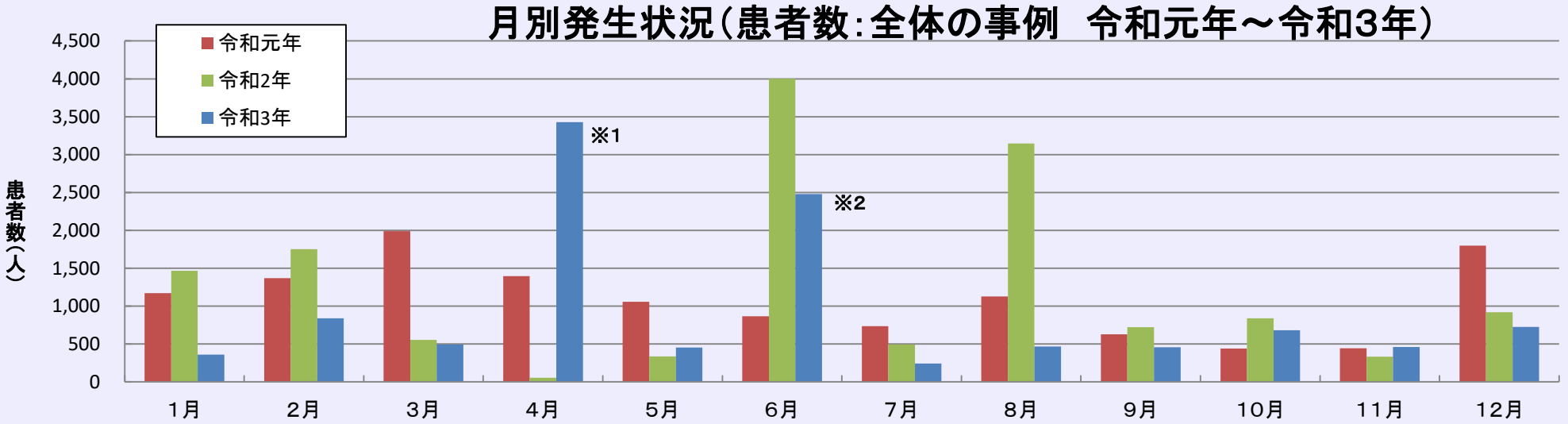


詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）8ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

月別発生状況



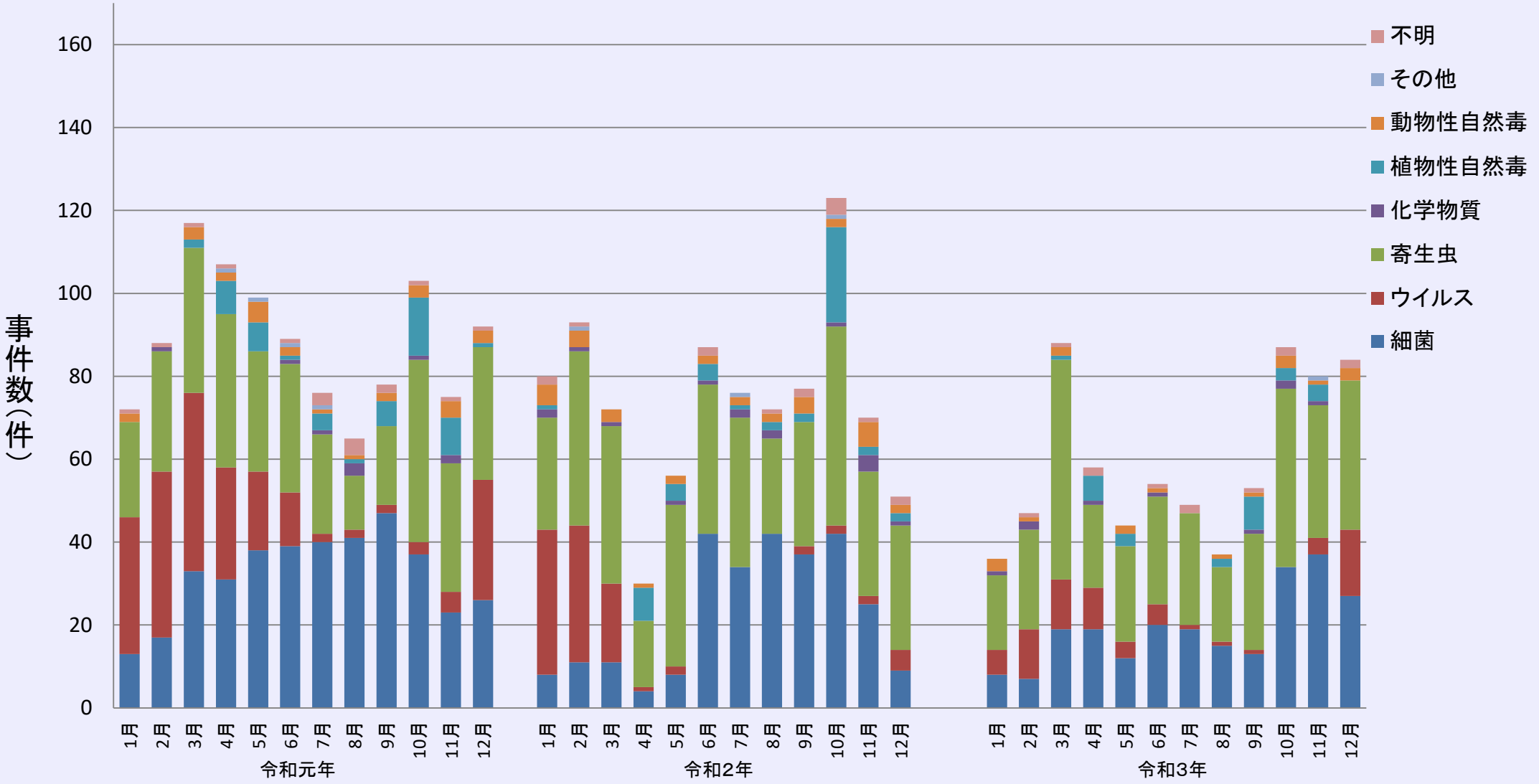


※1：倉敷市仕出し弁当による集団食中毒事件（患者2,545人）
※2：富山市牛乳による集団食中毒事件（患者1,896人）

詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）10・14ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

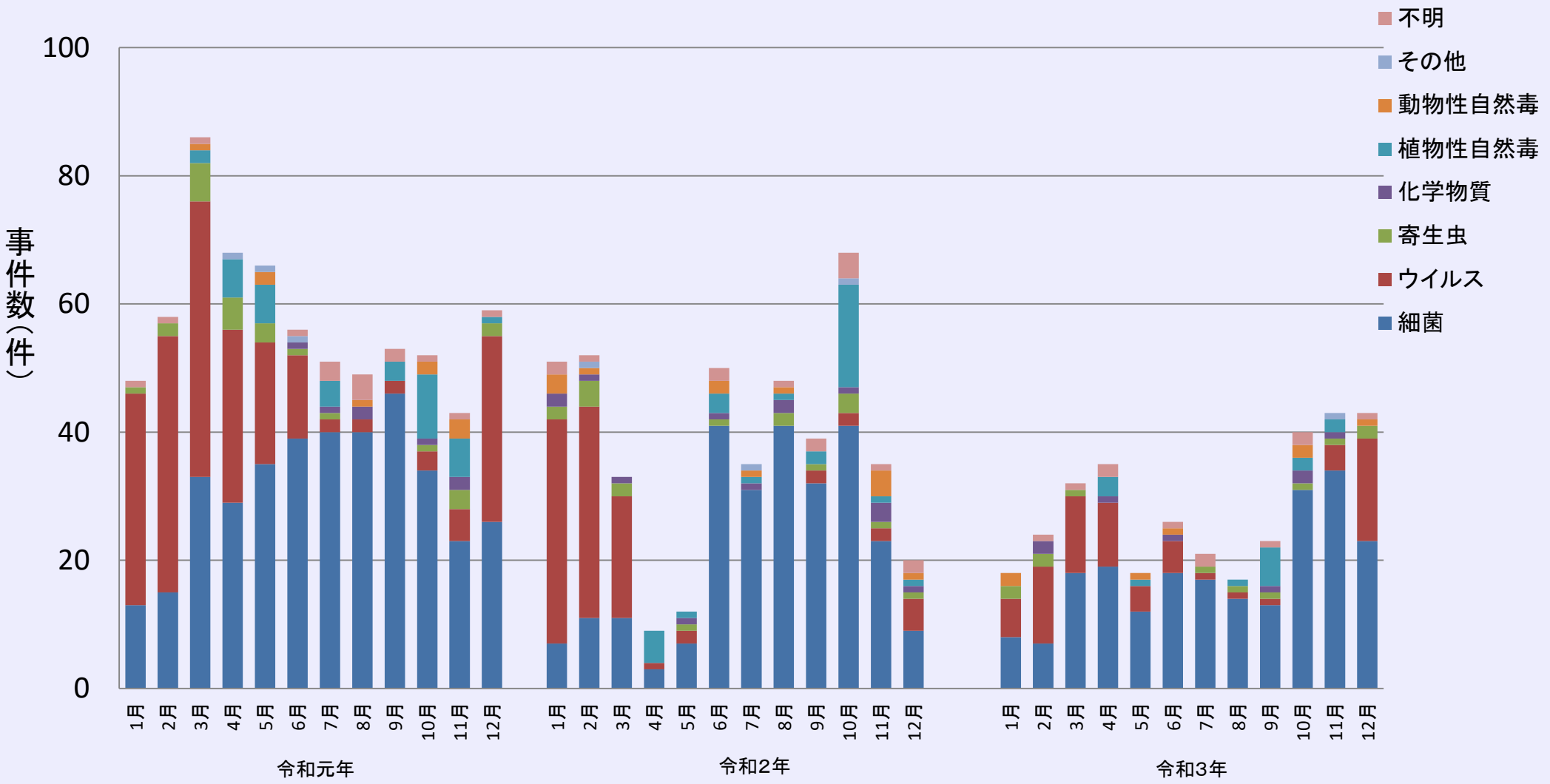
【全体】病因物質別事件数の月別発生状況（令和元年～令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）12・13ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

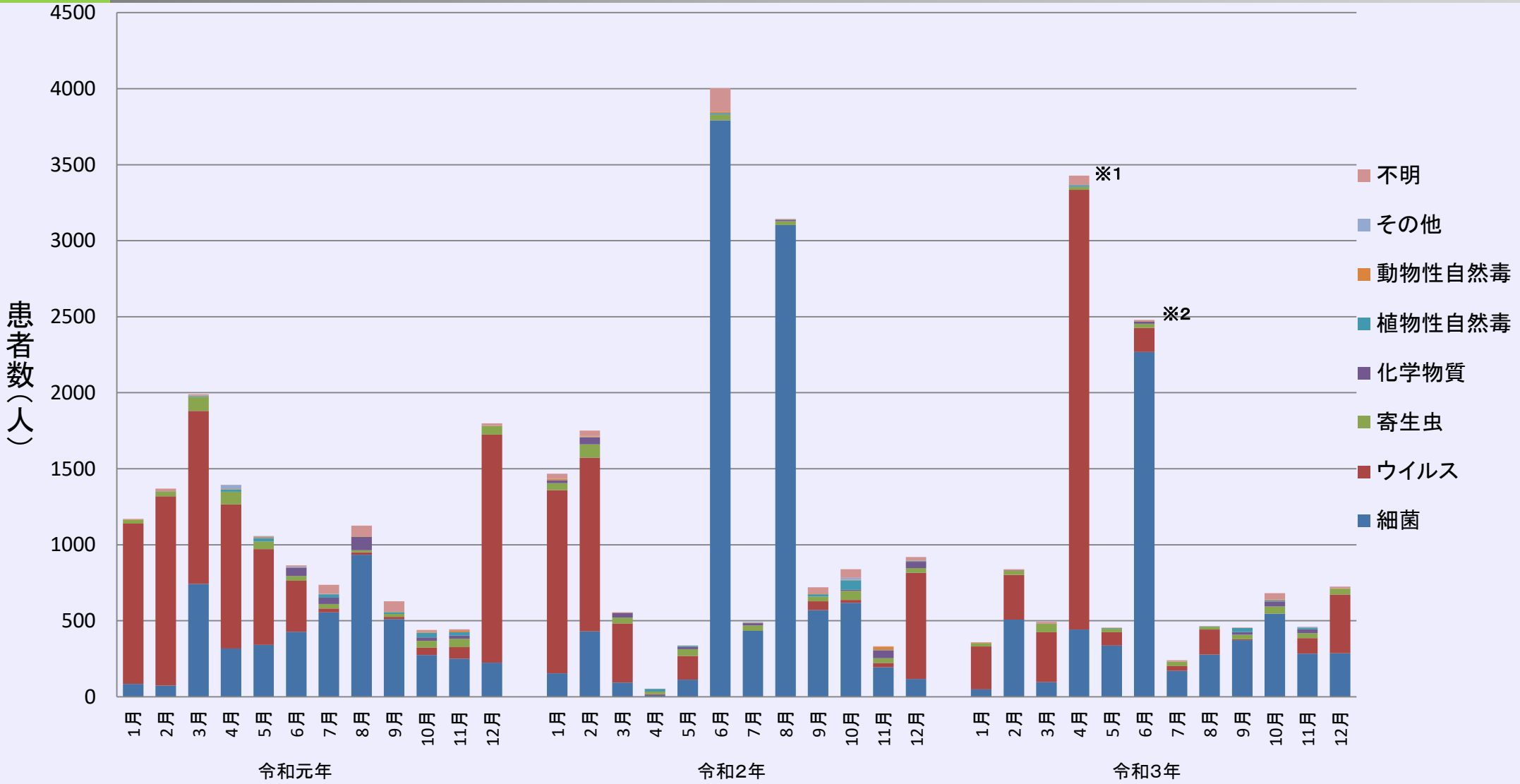
【患者数2人以上】病因物質別事件数の月別発生状況（令和元年～令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）12・13ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

病因物質別患者数の月別発生状況（令和元年～令和3年）

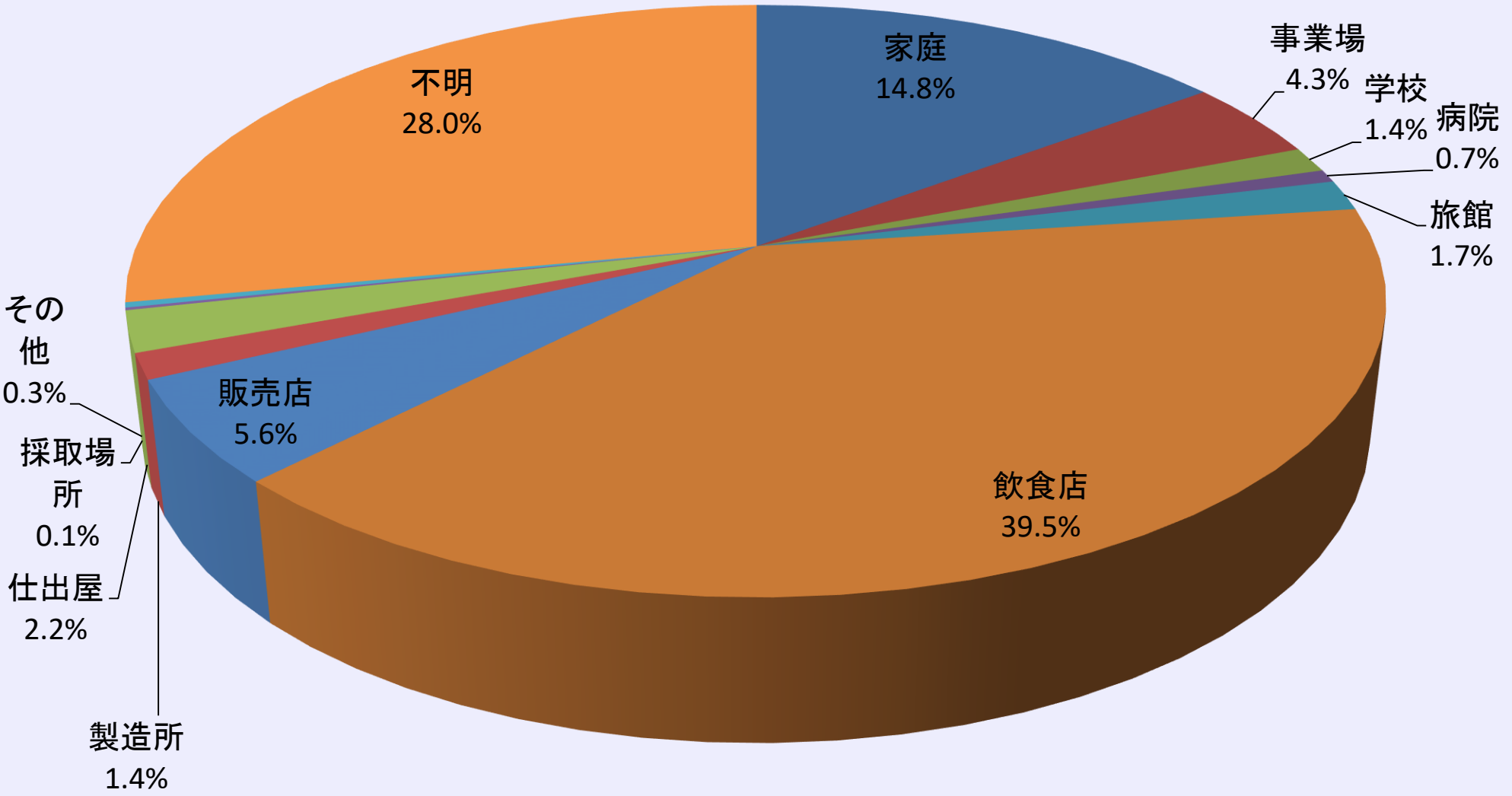


※1：倉敷市仕出し弁当による集団食中毒事件（患者2,545人）
※2：富山市牛乳による集団食中毒事件（患者1,896人）

詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）16・17ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

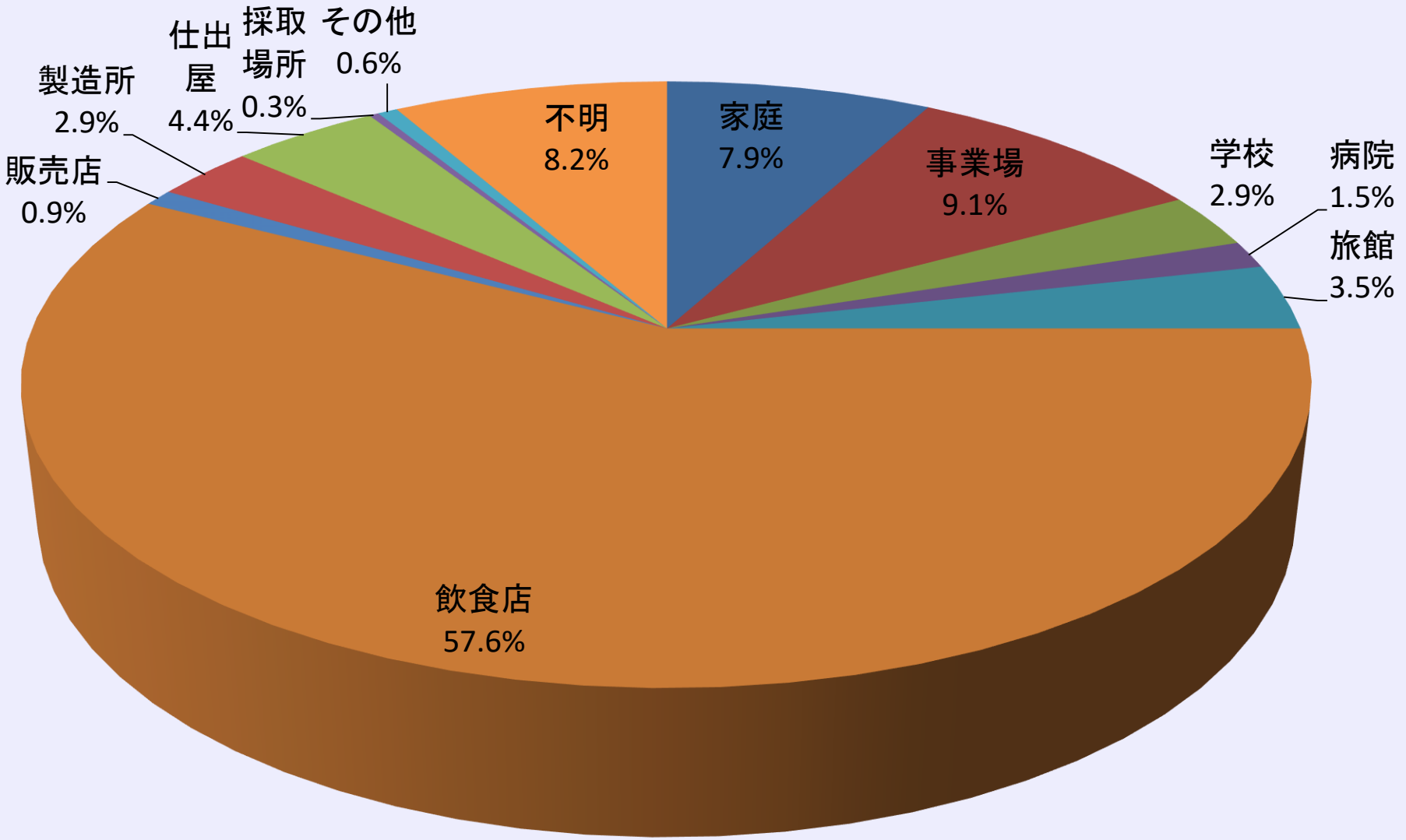
【全体】原因施設別事件数（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）18ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

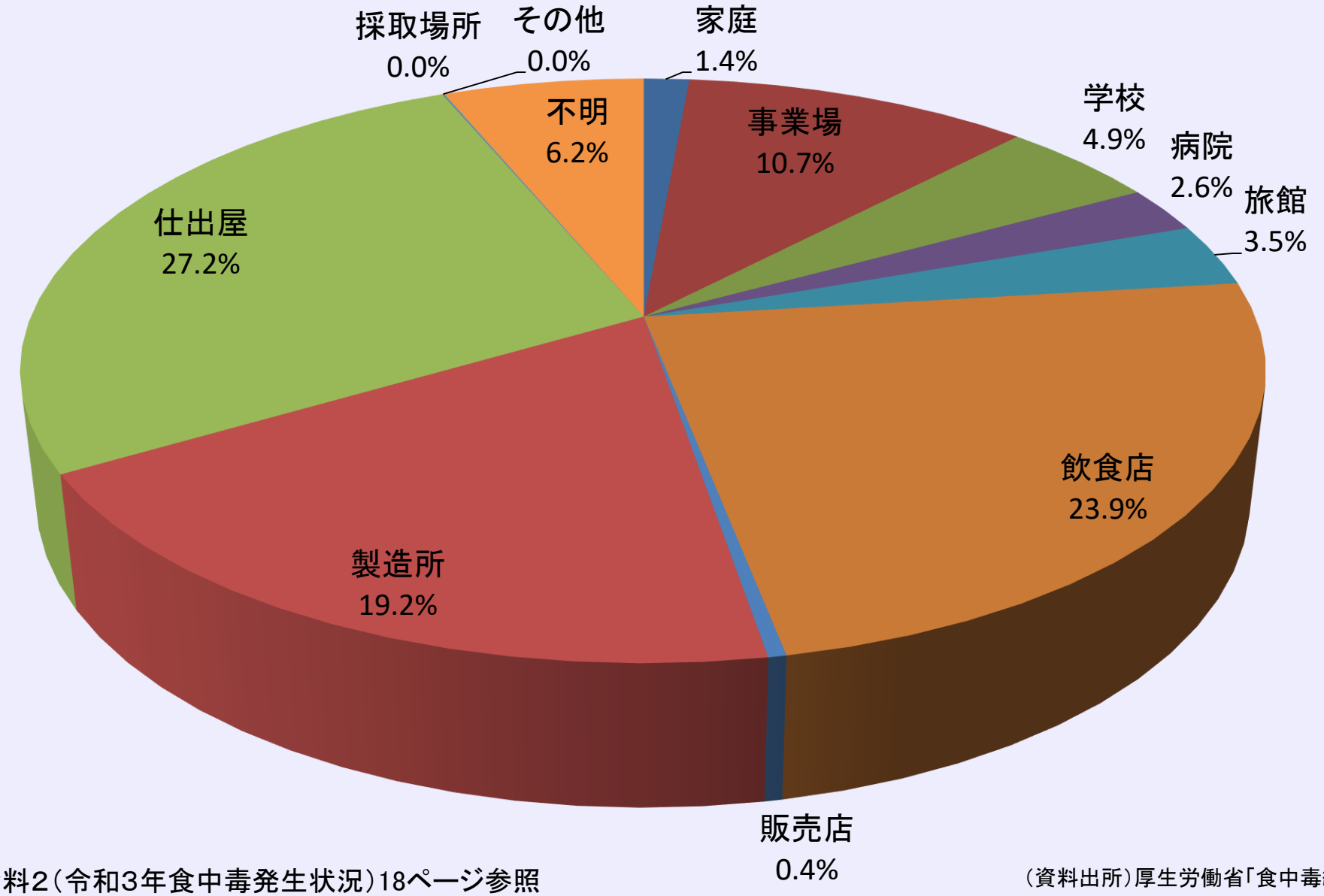
【患者数2人以上】原因施設別事件数（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）18ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

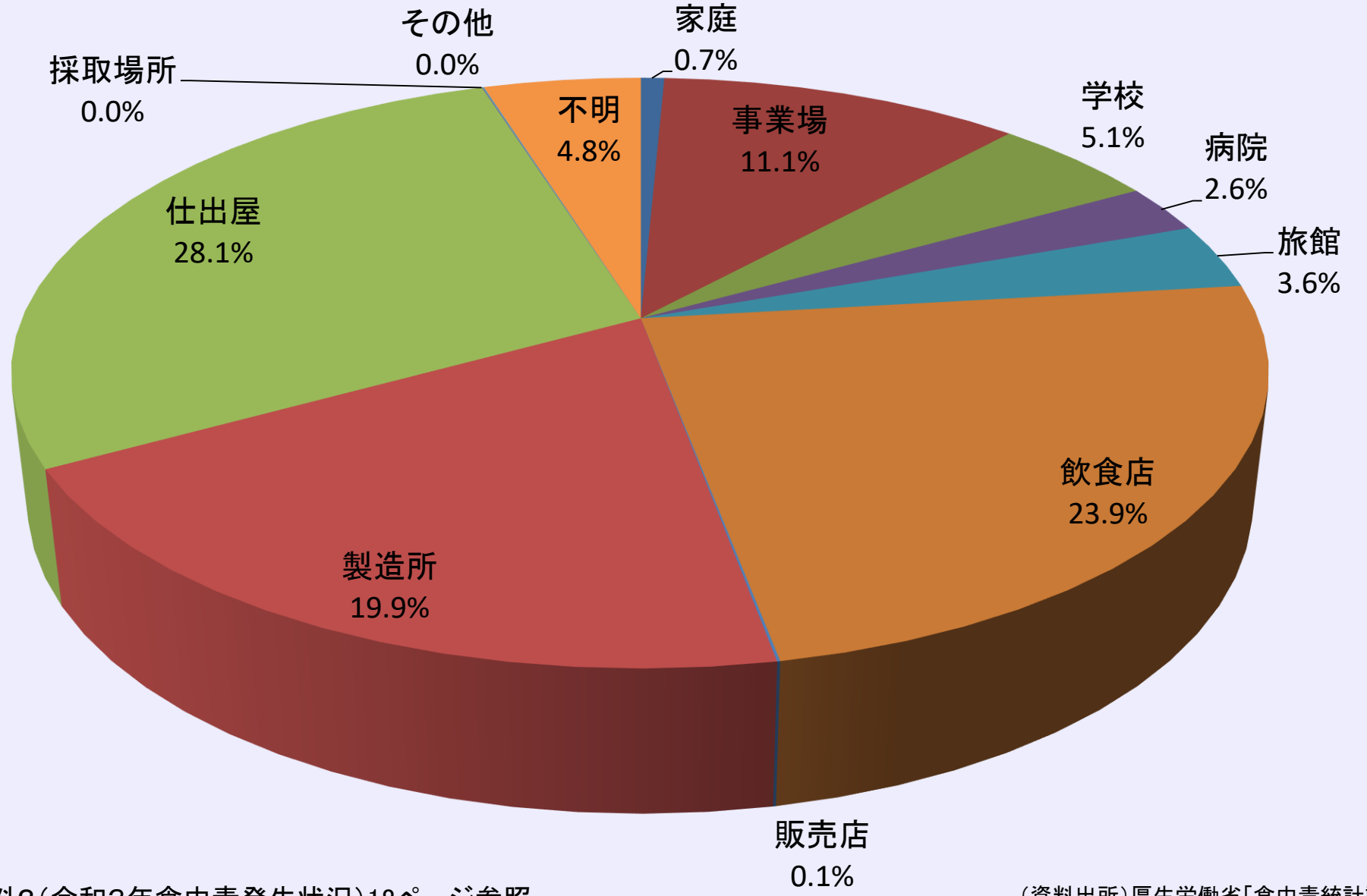
【全体】原因施設別患者数（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）18ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

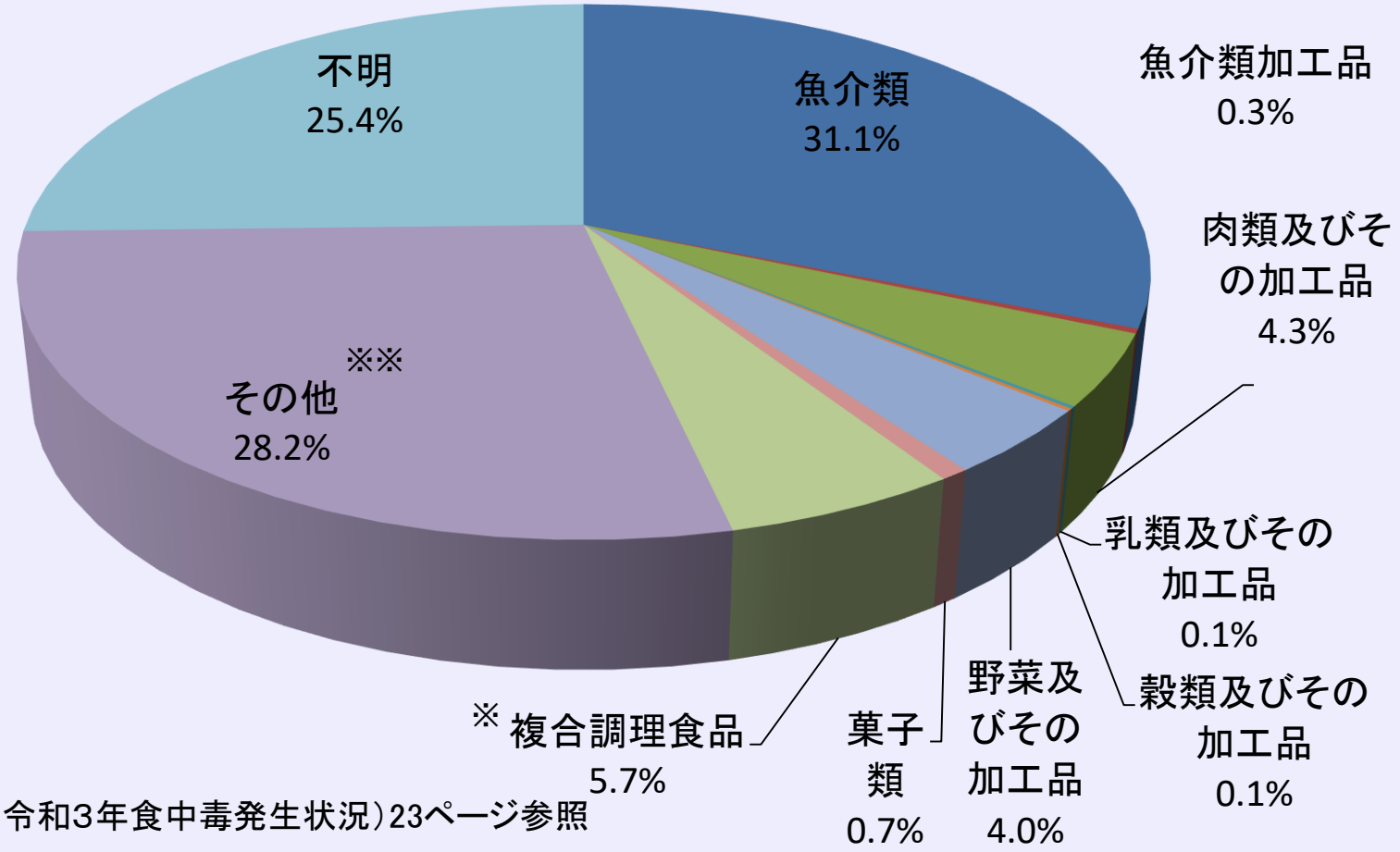
【患者数2人以上】原因施設別患者数（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）18ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

【全体】原因食品別事件数（令和3年）



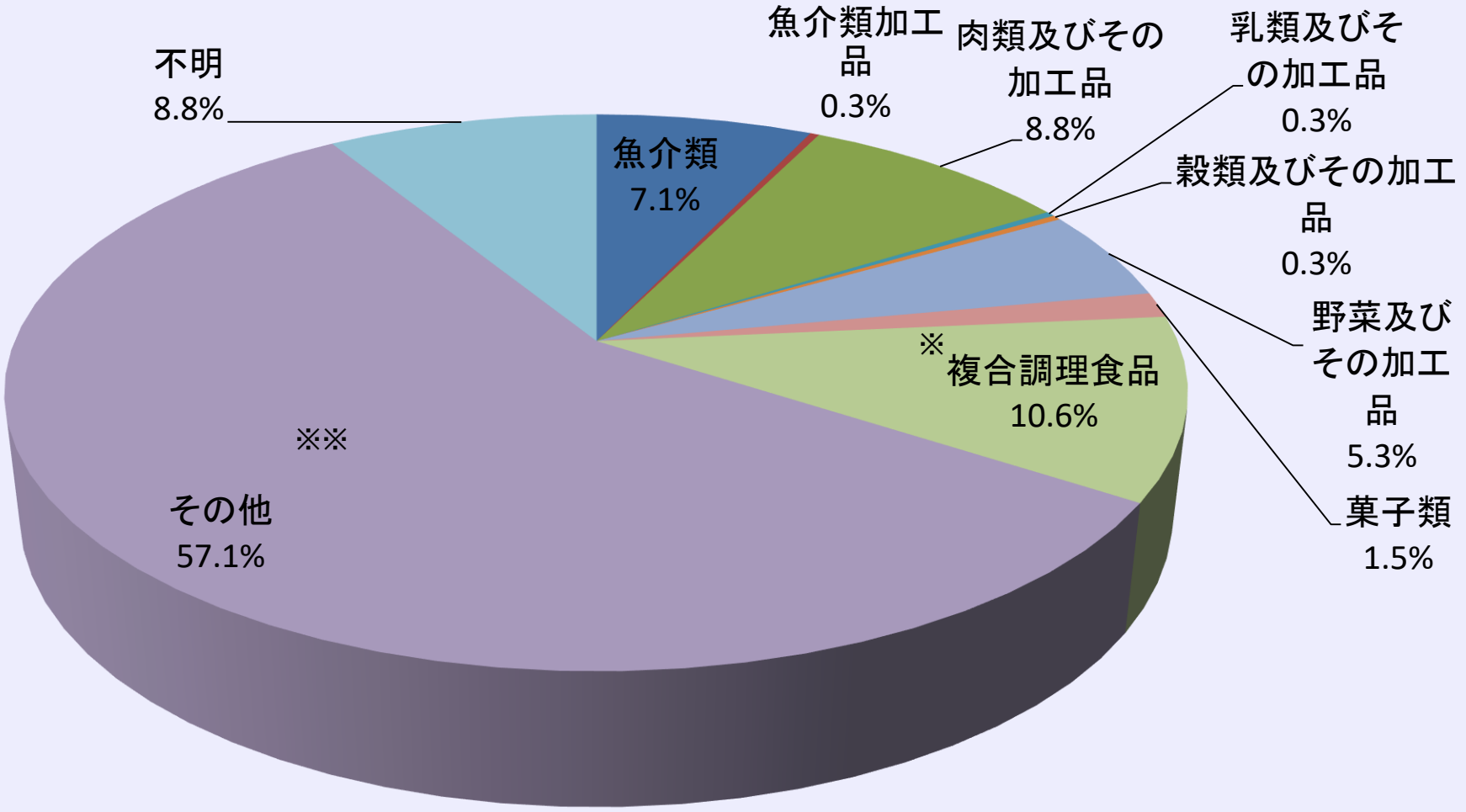
詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）23ページ参照

※複合調理品：コロッケ、ギョウザ、肉と野菜の煮付け等食品そのものが2種以上の原料により、いずれをも主とせず混合調理又は加工されているもので、そのうちいずれかが原因食品であるか判明しないもの（「食中毒統計作成要領」より）。

※※その他：上記分類のいずれにも該当しない全ての食品。酒精飲料、氷菓並びに藻類及びこれらの調理品又は加工品等（「食中毒統計作成要領」より）。また、「〇月〇日の食事」等の食事特定の事例を含む。

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

【患者数2人以上】原因食品別事件数（令和3年）



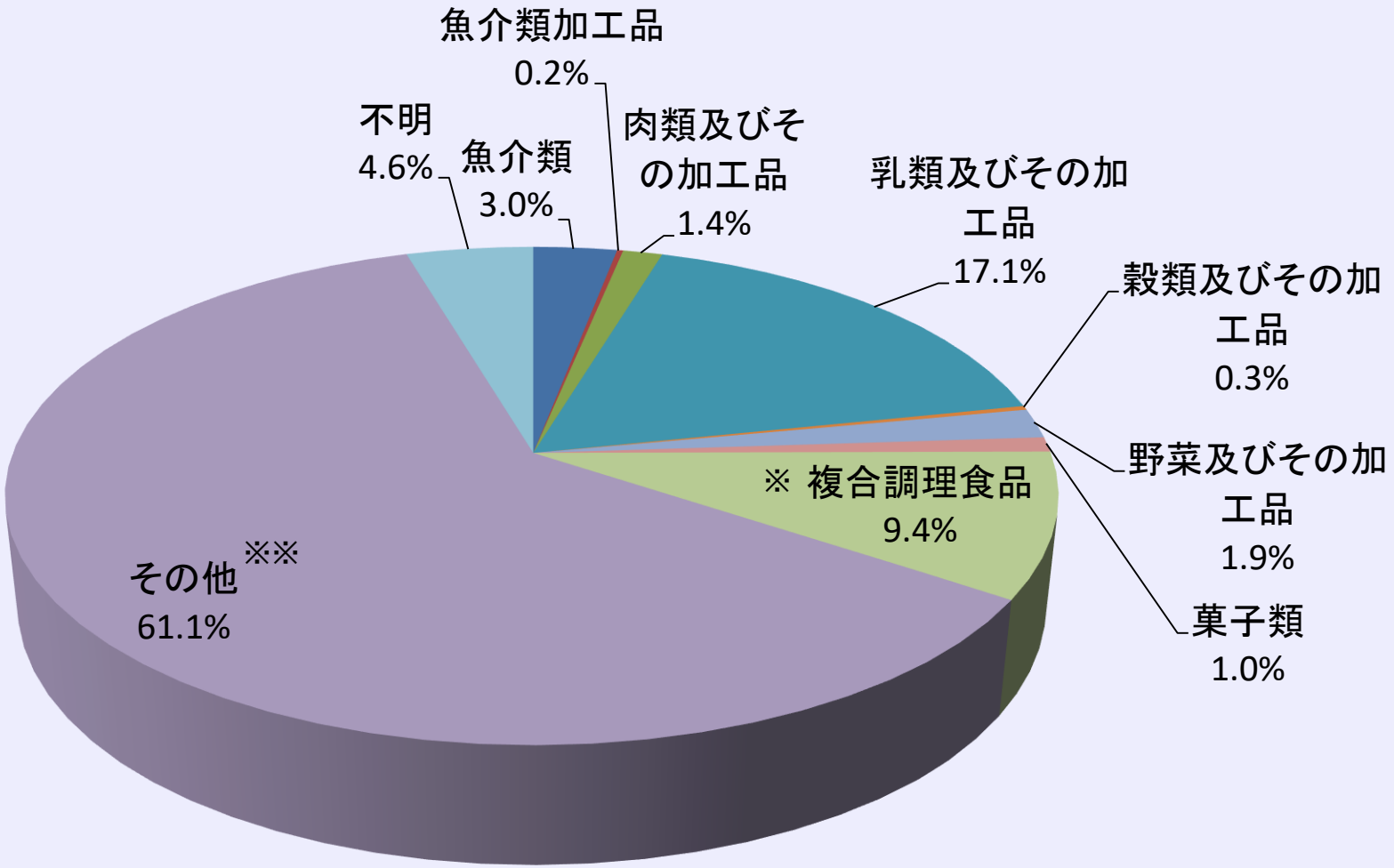
詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）23ページ参照

※複合調理品：コロッケ、ギョウザ、肉と野菜の煮付け等食品そのものが2種以上の原料により、いずれをも主とせず混合調理又は加工されているもので、そのうちいずれかが原因食品であるか判明しないもの（「食中毒統計作成要領」より）。

※※その他：上記分類のいずれにも該当しない全ての食品。酒精飲料、氷菓並びに藻類及びこれらの調理品又は加工品等（「食中毒統計作成要領」より）。また、「〇月〇日の食事」等の食事特定の事例を含む。

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

【全体】原因食品別患者数（令和3年）



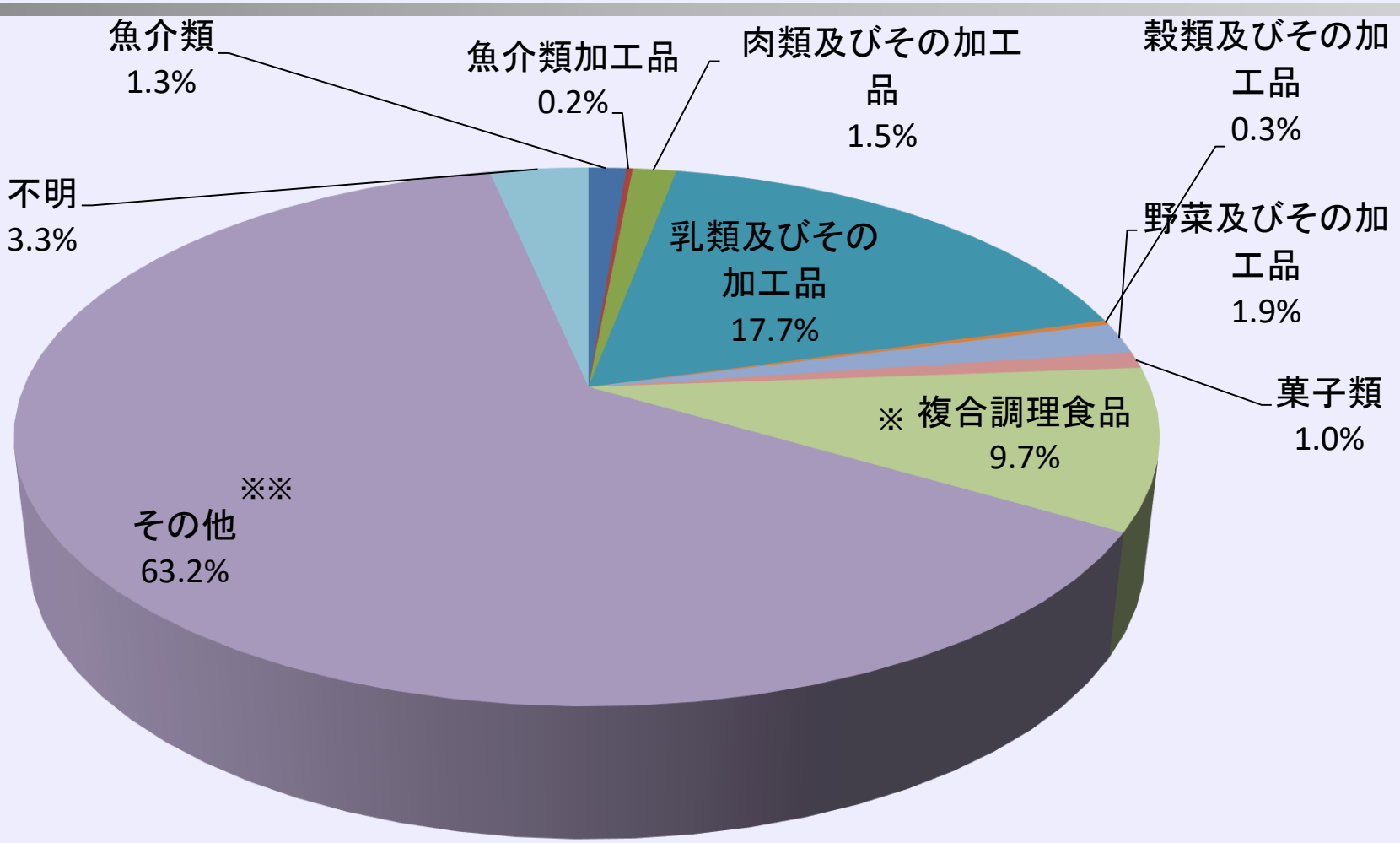
詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）23ページ参照

※複合調理品：コロッケ、ギョウザ、肉と野菜の煮付け等食品そのものが2種以上の原料により、いずれをも主とせず混合調理又は加工されているもので、そのうちいずれかが原因食品であるか判明しないもの（「食中毒統計作成要領」より）。

※※その他：上記分類のいずれにも該当しない全ての食品。酒精飲料、氷菓並びに藻類及びこれらの調理品又は加工品等（「食中毒統計作成要領」より）。また、「〇月〇日の食事」等の食事特定の事例を含む。

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

【患者数2人以上】原因食品別患者数（令和3年）



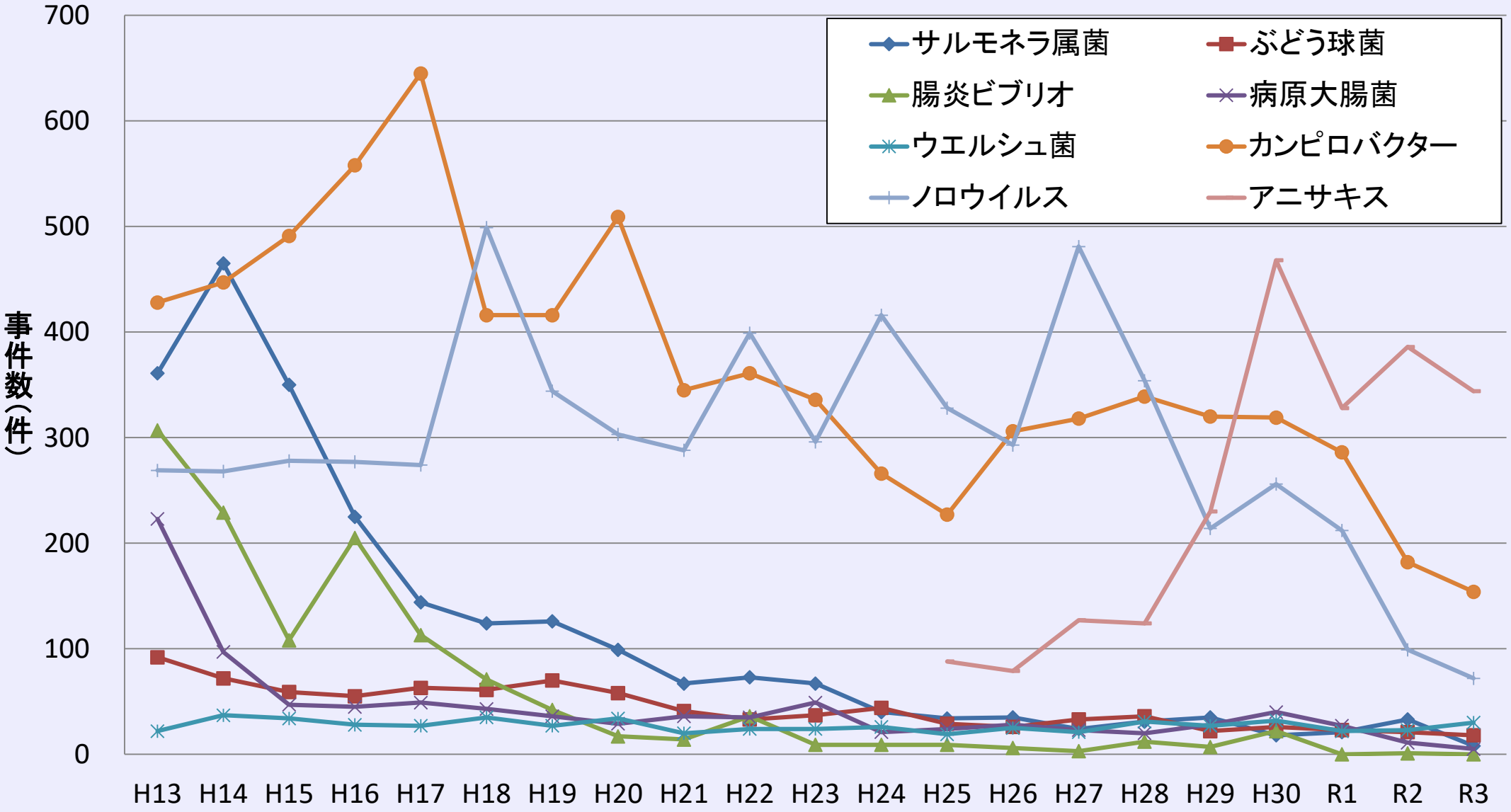
詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）23ページ参照

※複合調理品：コロッケ、ギョウザ、肉と野菜の煮付け等食品そのものが2種以上の原料により、いずれをも主とせず混合調理又は加工されているもので、そのうちいずれかが原因食品であるか判明しないもの（「食中毒統計作成要領」より）。

※※その他：上記分類のいずれにも該当しない全ての食品。酒精飲料、氷菓並びに藻類及びこれらの調理品又は加工品等（「食中毒統計作成要領」より）。また、「〇月〇日の食事」等の食事特定の事例を含む。

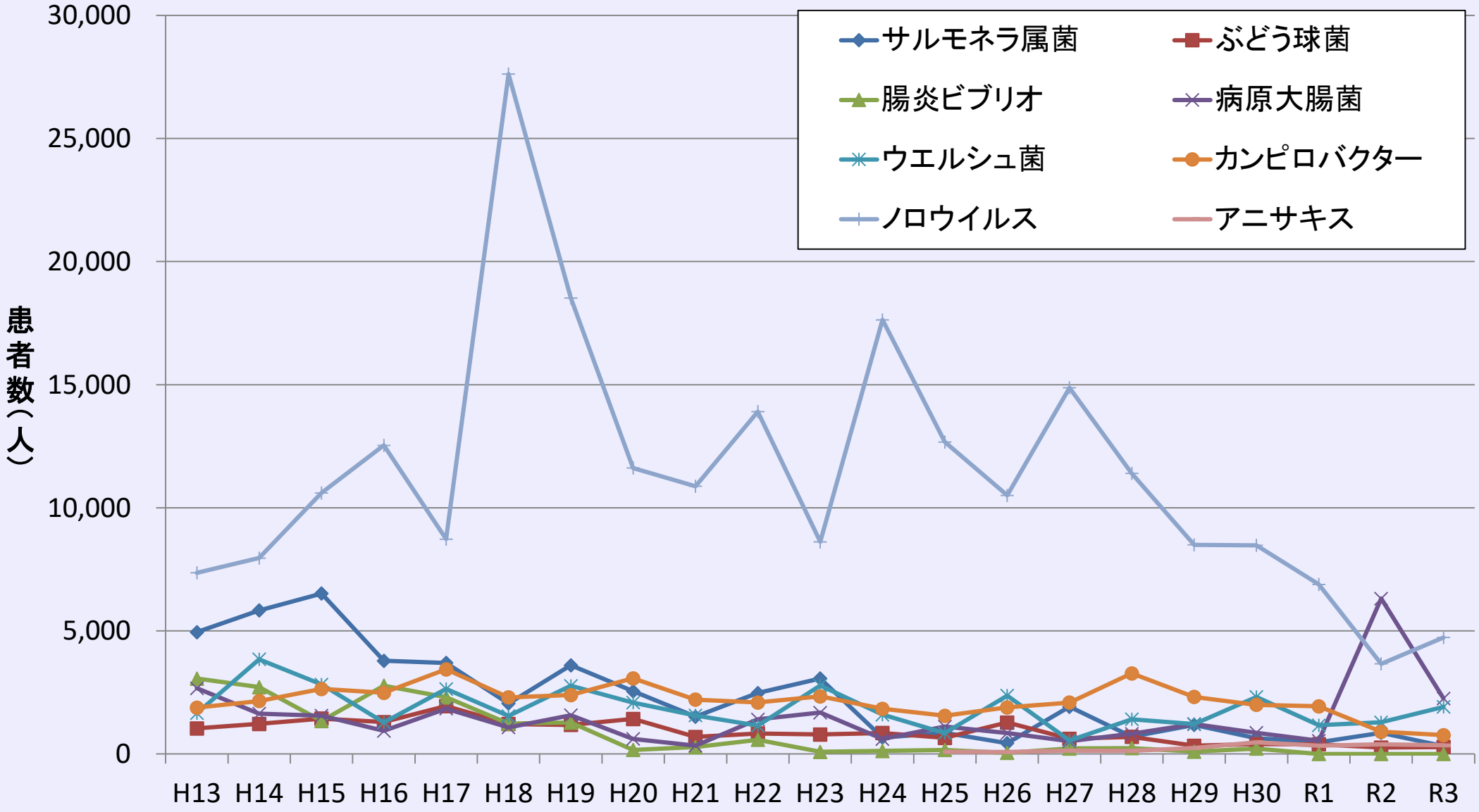
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

病因物質別事件数の推移



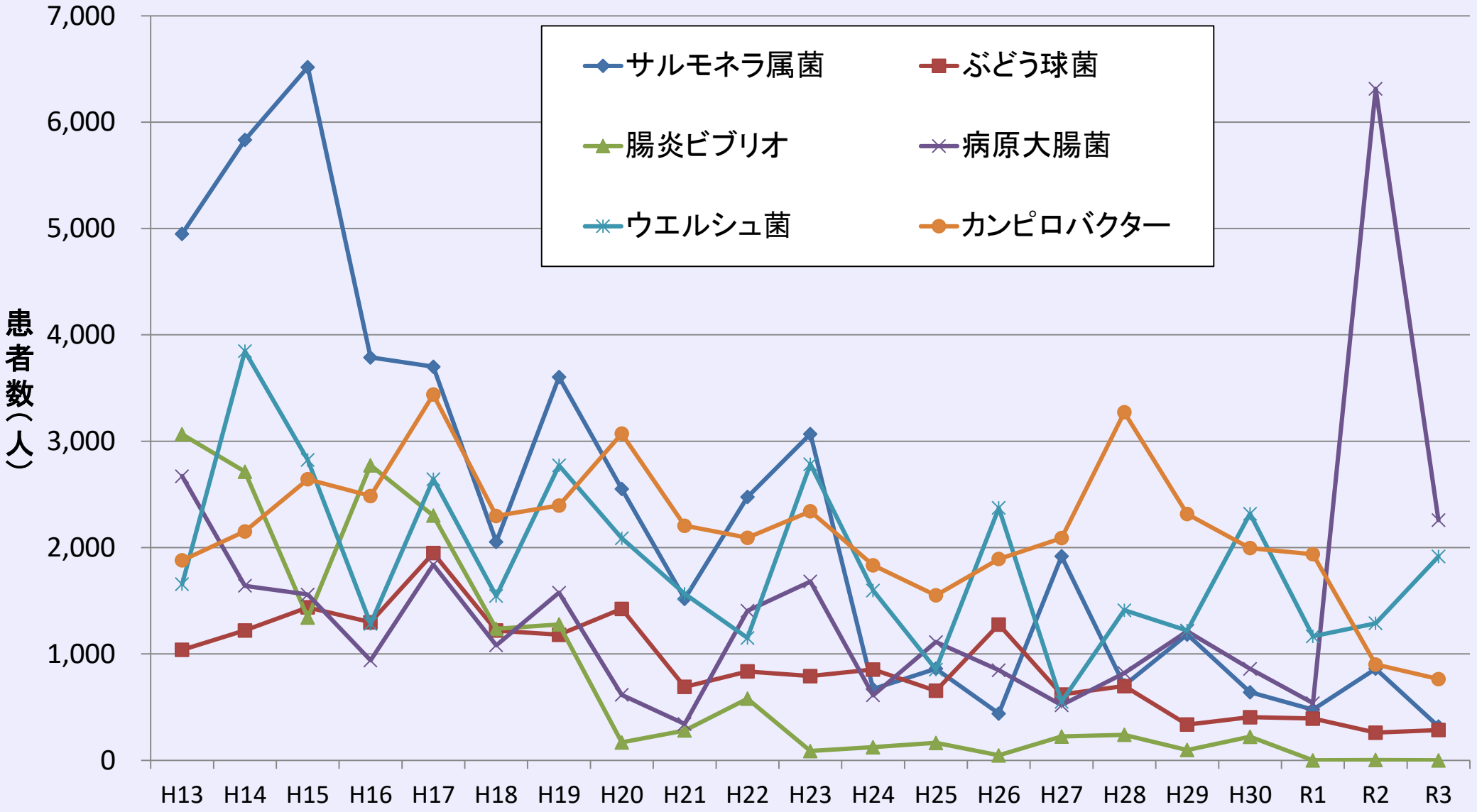
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

病因物質別患者数の推移



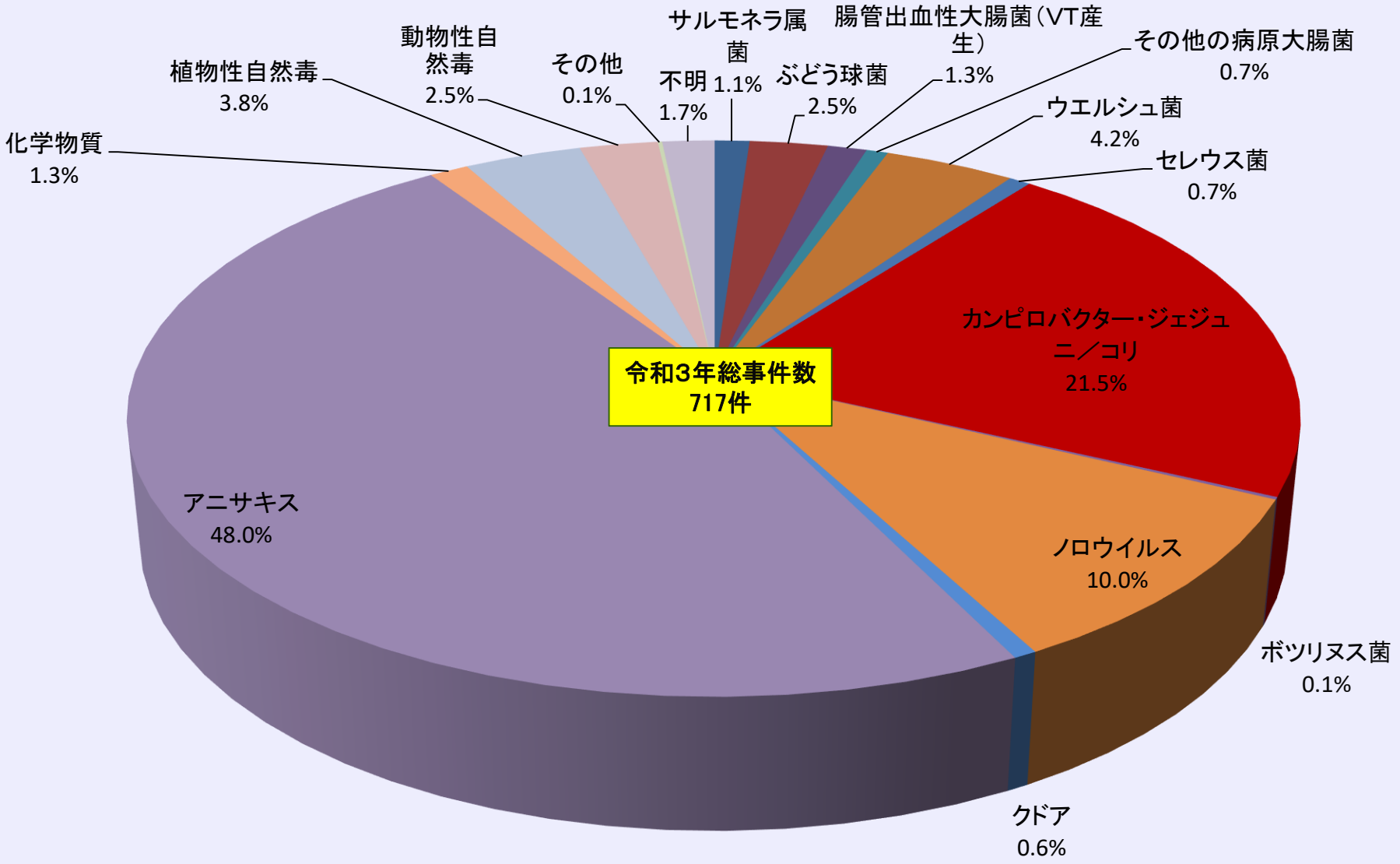
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

病因物質別患者数の推移（細菌のみ抽出）



（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

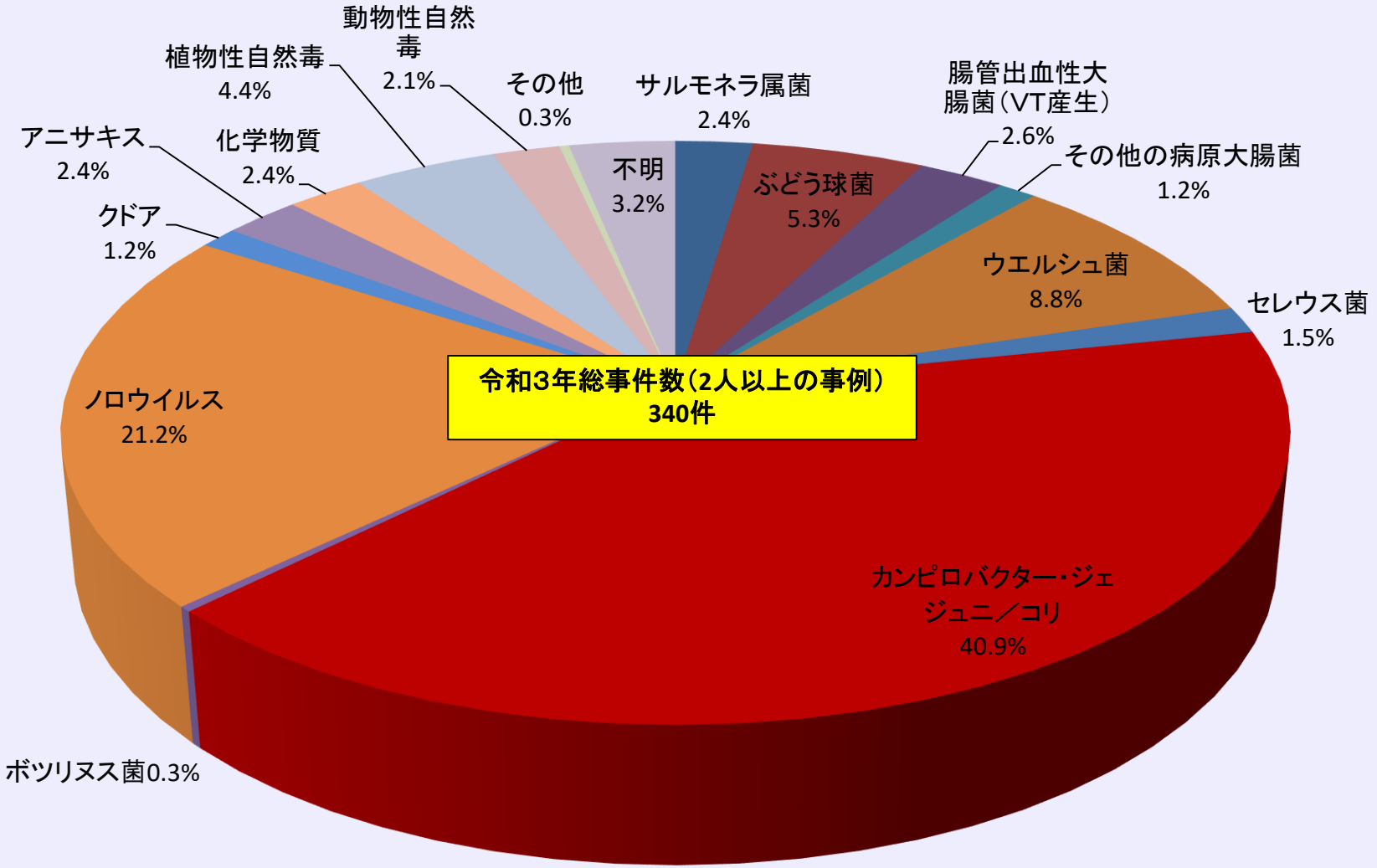
【全体】病因物質別事件数発生状況（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）28ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

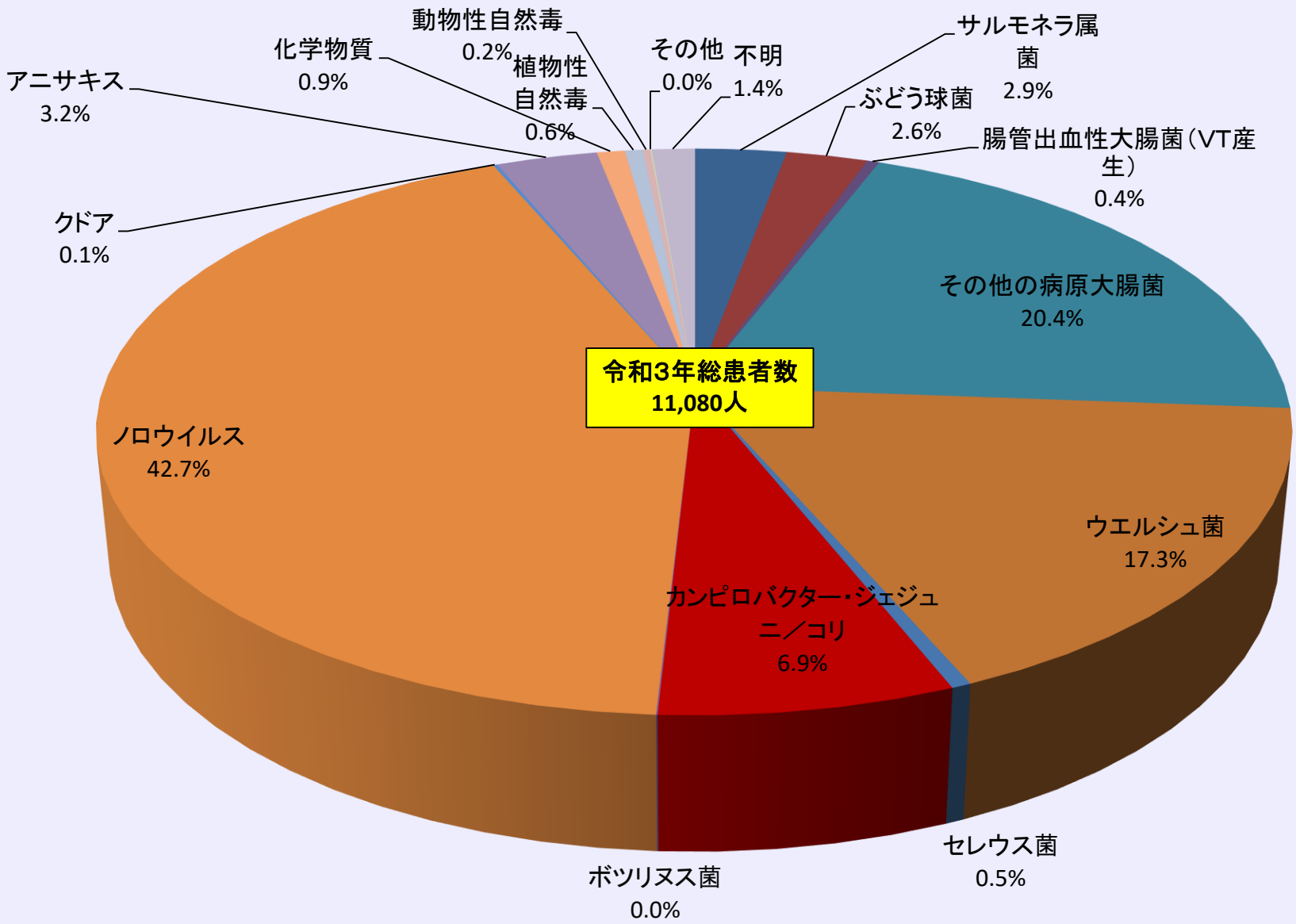
【患者数2人以上】病因物質別事件数発生状況（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）28ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

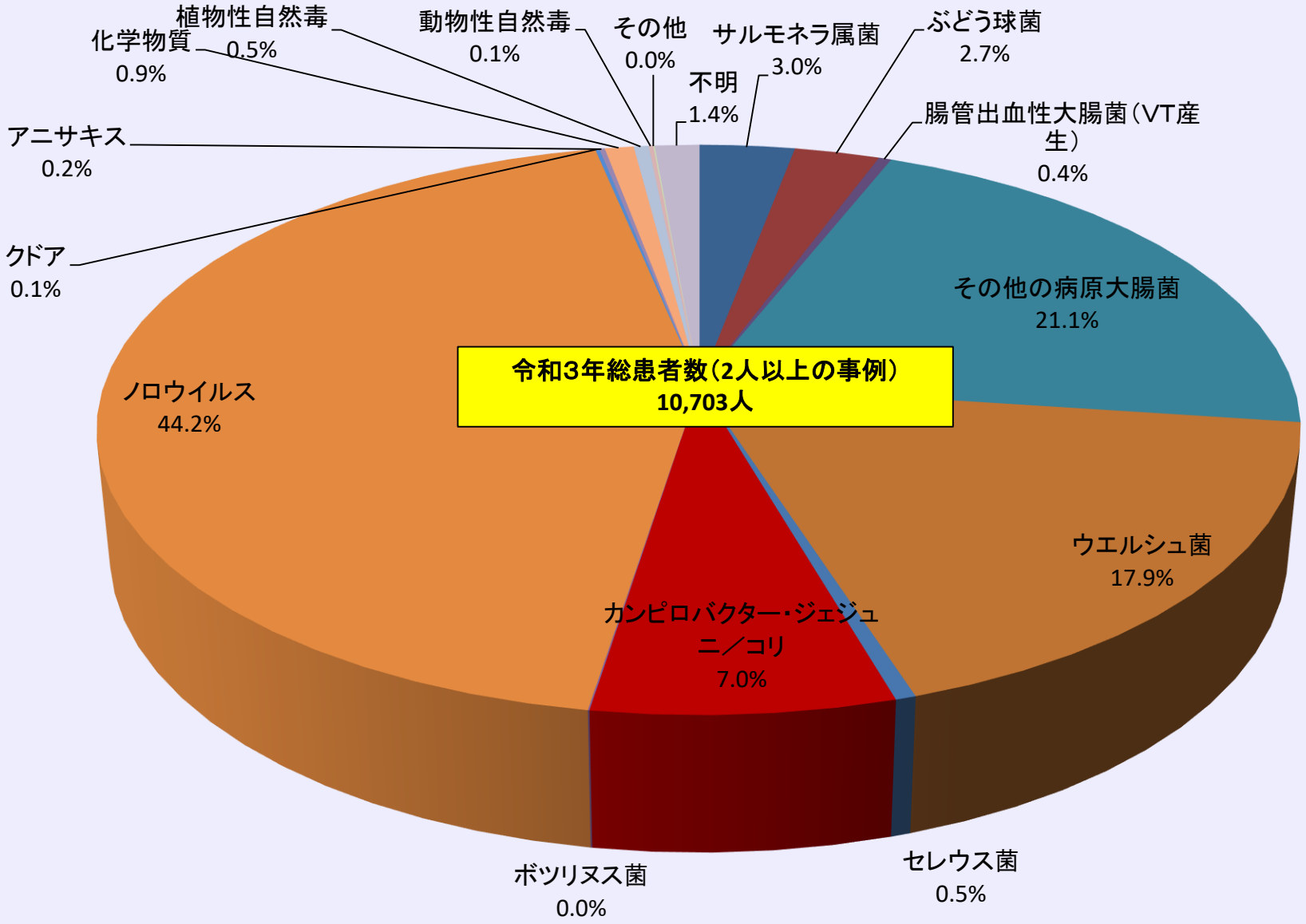
【全体】病因物質別患者数発生状況（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）28ページ参照

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

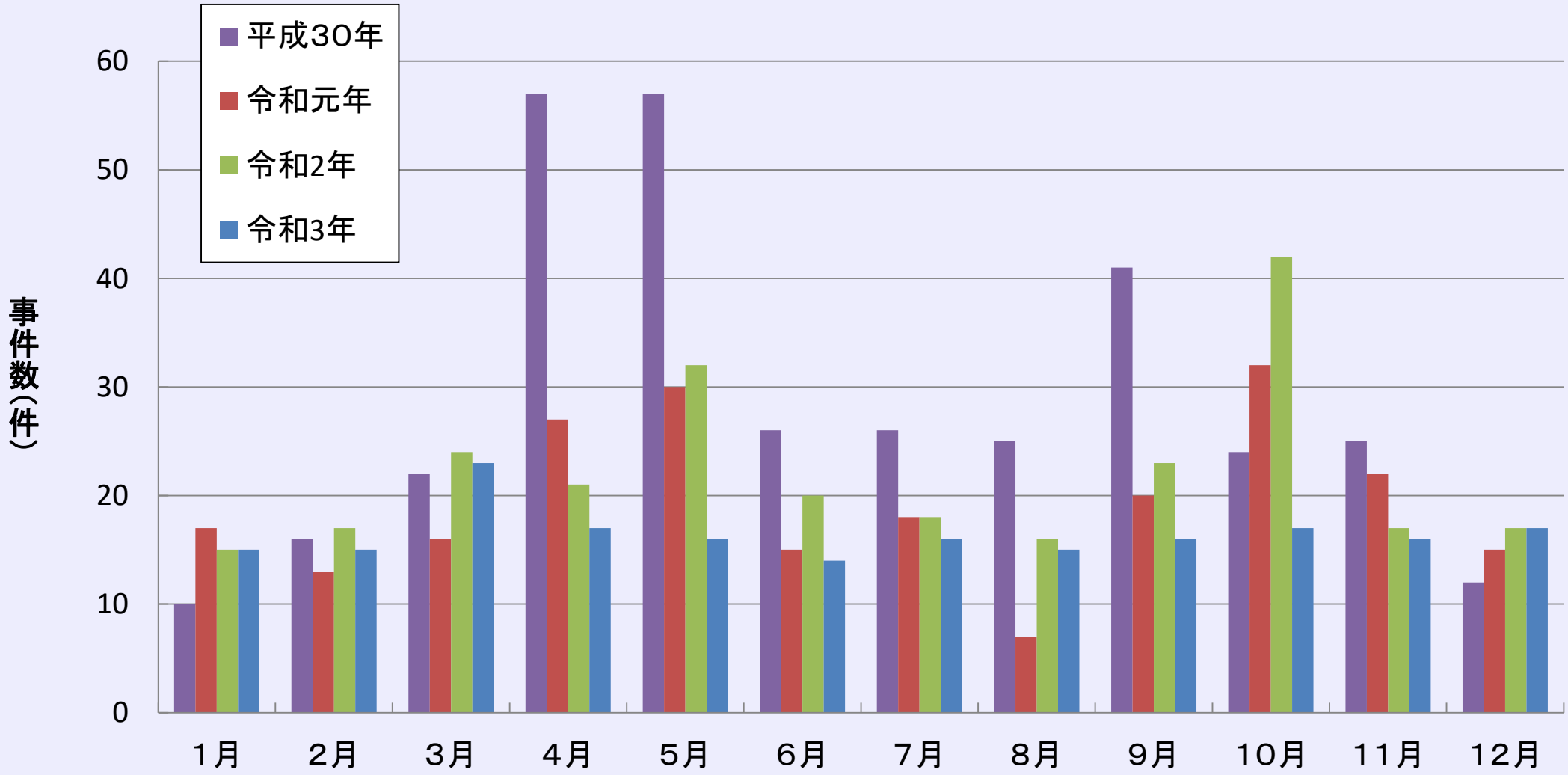
【患者数2人以上】病因物質別患者数発生状況（令和3年）



詳細は、資料2（令和3年食中毒発生状況）28ページ参照

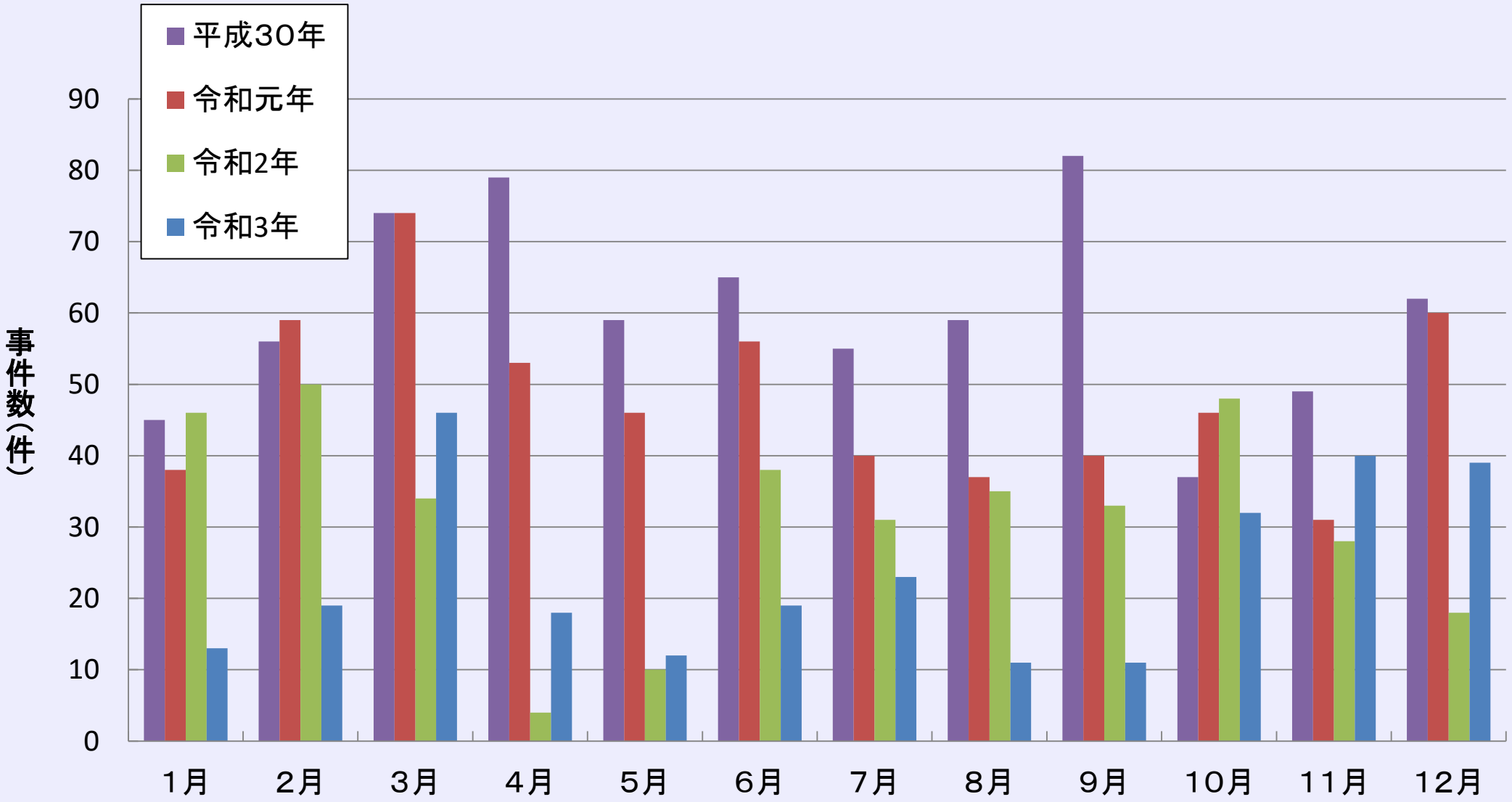
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

摂食場所を家庭とする食中毒事件の月別発生状況



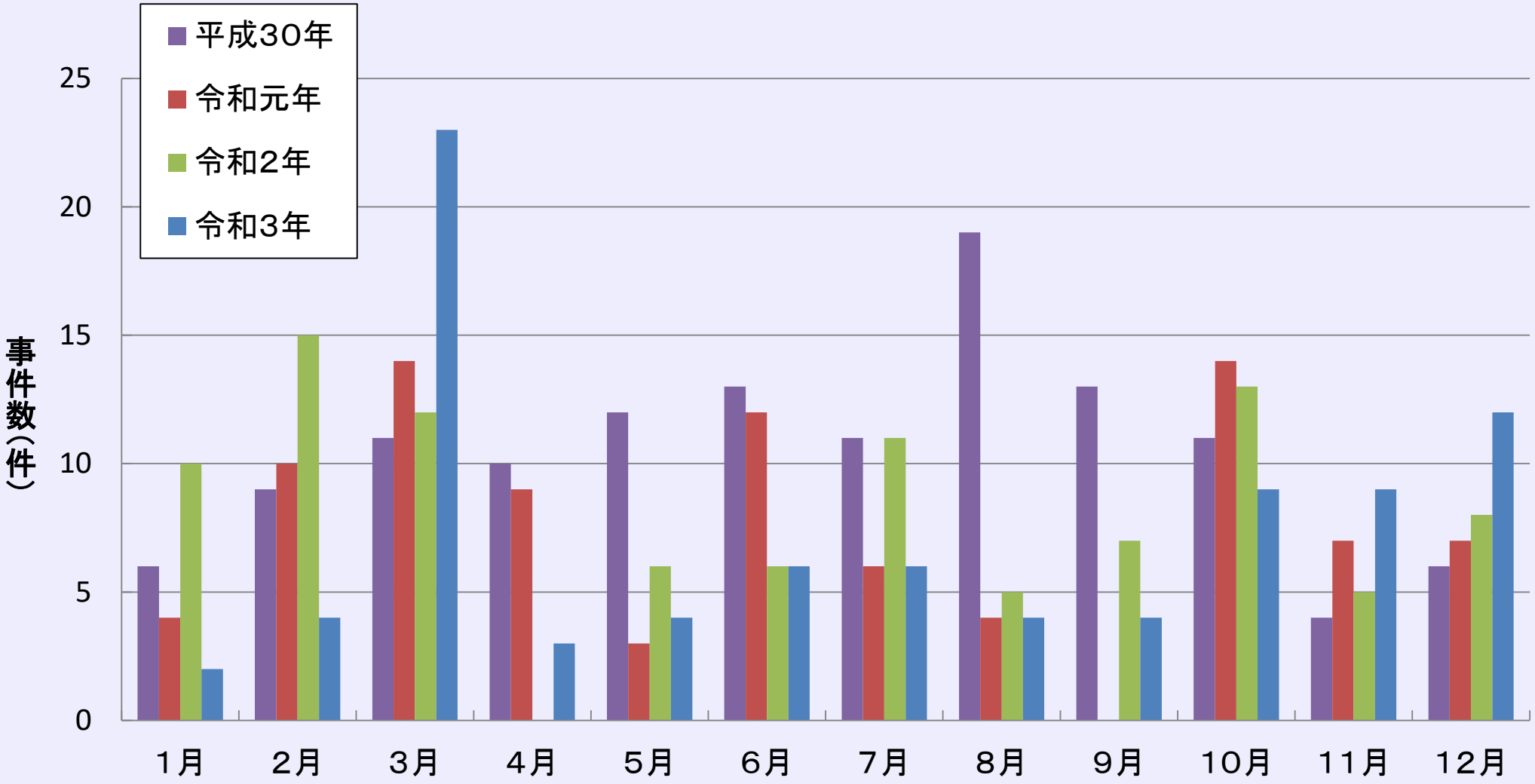
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

原因施設を飲食店とする食中毒事件の月別発生状況



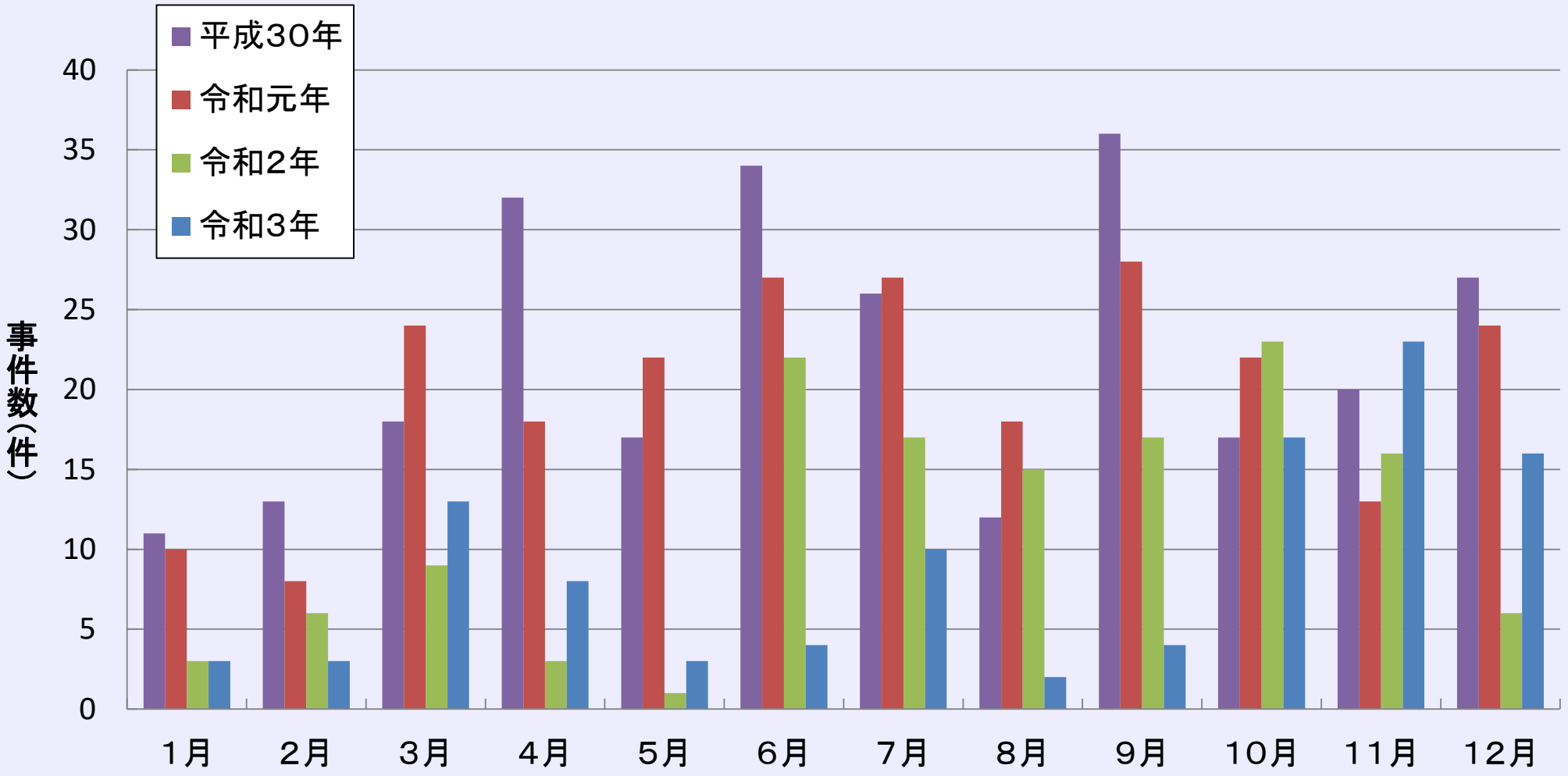
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

原因施設（飲食店）のアニサキス食中毒事件の月別発生状況



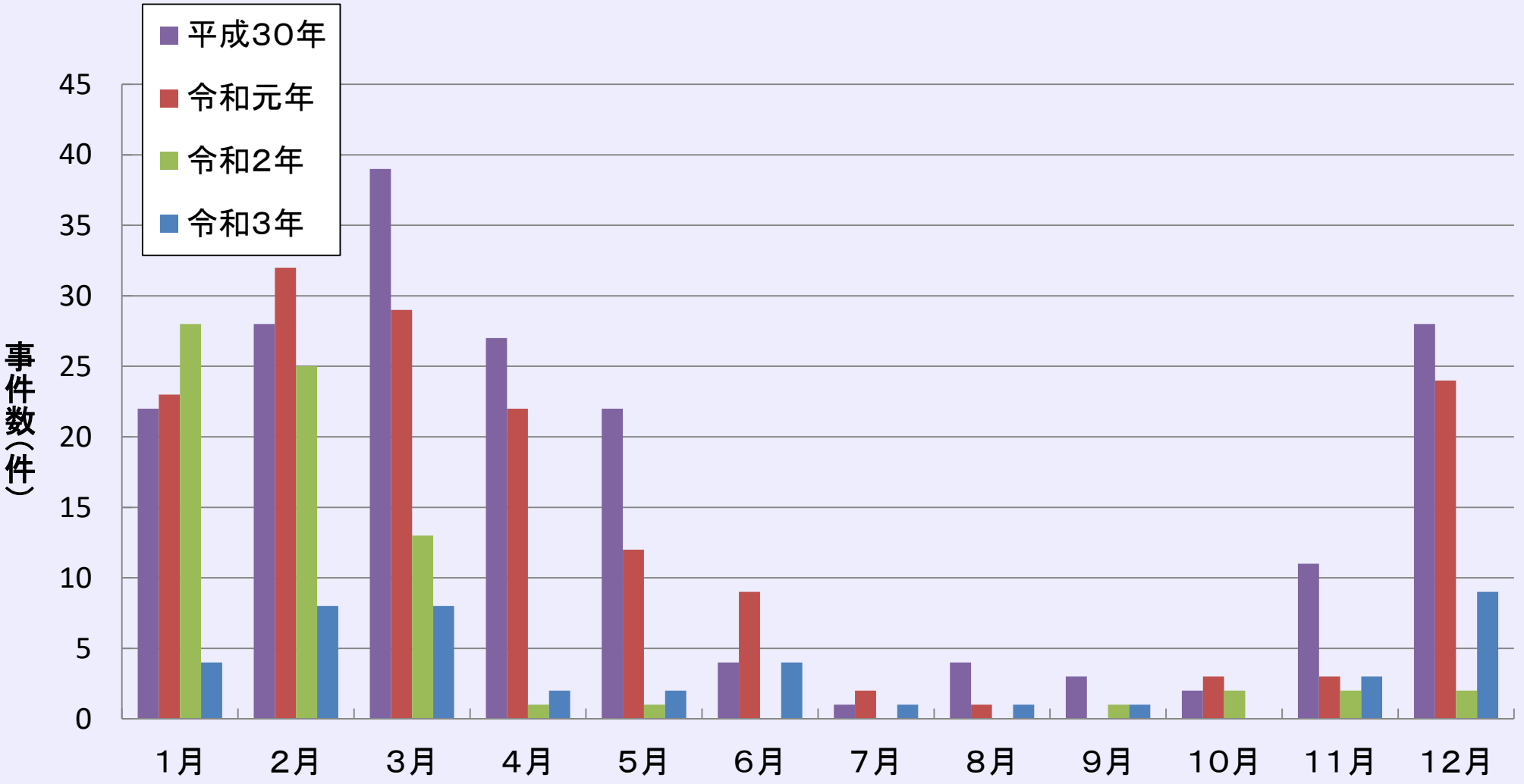
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

原因施設（飲食店）のカンピロバクター食中毒事件の月別発生状況



（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

原因施設（飲食店）のノロウイルス食中毒事件の月別発生状況



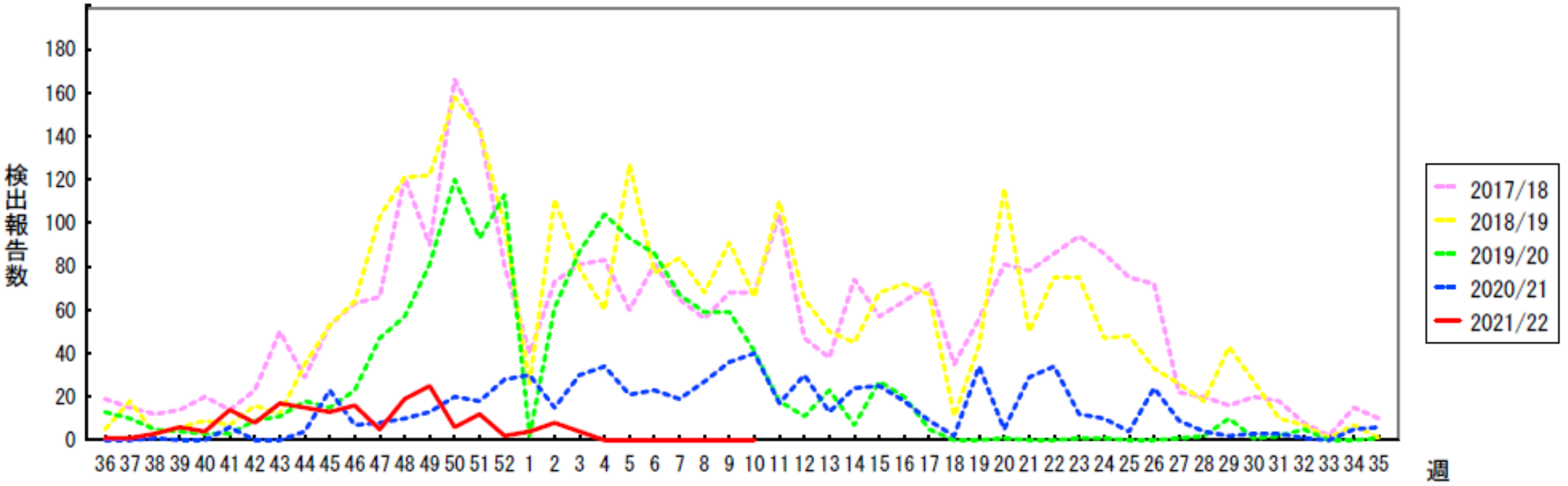
（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」

週別ＳＲＳＶ（ノロウイルス、サポウイルス）検出報告数、過去4シーズンとの比較、2017/18～2021/22シーズン

（病原微生物検出情報： 2022年3月7日 作成）

＊各都道府県市の地方衛生研究所等からの検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report



出典：国立感染症研究所ホームページ

原因施設が飲食店または仕出屋であり、摂食場所を家庭とする食中毒事件の年別発生比較

発生年	原因施設が飲食店または仕出屋 かつ摂食場所家庭の事件数（件）	総事件数（件）
平成30年	31件	1,330件
令和元年	15件	1,062件
令和2年	24件	887件
令和3年	24件	717件

（資料出所）厚生労働省「食中毒統計調査」